

令和5年度行政事業レビューシート (デジタル庁)

事業名	提供口座情報照会システム(オプトアウト)			担当部局庁	デジタル社会共通機能グループ	作成責任者	
事業開始年度	令和5年度	事業終了(予定)年度	令和8年度	担当課室	預貯金口座2法班	参事官 白井 宏幸	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	公的給付の支給等の迅速かつ確実な実施のための預貯金口座の登録等に関する法律(令和3年法律第38号)第5条の2			関係する計画、通知等	デジタル社会の実現に向けた重点計画(令和5年6月9日閣議決定)		
政策	情報通信技術等の適正・効率化に関する施策の推進			主要経費	その他の事項経費		
施策	情報システムの整備						
政策体系・評価書URL	https://www.digital.go.jp/policies/assessment/						
事業の目的 (5行程度以内)	迅速かつ確実な給付の実現に向け、デジタルに不慣れな方でも簡易に公金受取口座の登録をできるよう登録方法の拡充を図る。						
現状・課題 (5行程度以内)	迅速な給付の実現のため、より多くの方に登録していただく必要があるところ、マイナポイントの終了により公金受取口座の登録の増加数が減ることが想定されることから、法令の施行に向けて必要なシステムを早期に整備する必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	日本年金機構が年金受給者に対して送付する意向確認書の送達状況を管理するほか、照会に対応し、公金受取口座を登録する方の情報を抽出してデジタル庁へ提供するために必要なシステムを整備する。						
事業概要URL	-						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		令和5年度第1次補正予算	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	-	-
		執行額(G)	-	-	-	-	-
執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-	-	-		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	計(A)	-	-				

活動内容① (アクティビティ)		年金受給者に対して送付する意向確認書の送達状況を管理するほか、照会に対応し、公金受取口座を登録する方の情報を抽出してデジタル庁へ提供するために必要なシステムを整備する。								
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		法令の施行に向けて必要となる機能を備えたシステムを適切に整備する。	法令の施行に向けて必要となる機能を備えたシステムを適切に整備する。	活動実績	-	-	-	-	-	-
				当初見込み	-	-	-	-	-	-
↓		成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	短期目標には、構築完了するシステムの安定的な運用を設定した。 ※システム構築完了後、運用を開始する令和7年度を短期目標年度とした。							
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7年度	
		提供口座情報照会システムの稼働率99.9%(稼働時間/予定稼働時間)を目標に安定した運用に努める。	計画停止や災害による停止を除く業務の稼働率(実稼働時間/予定稼働時間)	成果実績	%	-	-	-	-	
				目標値	%	-	-	-	99.9	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		安全・安定的にサービスを提供する必要があるマイナンバー制度関係システムの稼働率と同じ水準を目標数値に設定した。								
↓		成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
成果目標及び成果実績①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 -年度	
				成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓		成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	システムの安定稼働を前提に、長期目標には公金受取口座の制度を充実させ、「公金受取口座としての制度基盤を安定させること」を設定した。 ※短期目標年度(令和7年度)の翌年度である、令和8年度を長期目標年度とした。							
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 8年度	
		公金受取口座登録法施行規則に定められた給付の全てにおいて公金受取口座情報を利用可能となるよう、公金受取口座情報を利用可能な給付の数を増やす	公金受取口座を利用可能な公的給付の支給等の種類の数/制度上定められた公的給付の支給等の種類の数の割合	成果実績	%	-	-	82	-	
				目標値	%	-	-	-	82	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		公金受取口座を利用して受け取ることができる給付金等(https://www.digital.go.jp/policies/account_registration/benefits/)								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

